

- 1…緊急提言～東北地方太平洋沖地震に寄せて～  
財埼玉県サッカー協会副会長 横山謙三  
(財)埼玉県サッカー協会、公益財団法人へ
- 2…座談会 埼玉の2種、3種、4種の連携を目指して  
～守屋監督を囲んで～
- 5…大会記録
- 7…審判委員会・技術委員会より
- 8…医事委員会・広報委員会・施設委員会より  
インフォメーション・編集後記



●発行/発行人：会長・相川宗一 編集人：高橋 明 ●発行所/(財)埼玉県サッカー協会 住所：〒330-0074さいたま市浦和区北浦和 1-21-18雁ヶ音ビル204号室  
Tel048-834-2002・Fax048-834-2004 http://www.saitamasfa.com/(年間購読料 1500円)

## 緊急提言 ～東北地方太平洋沖地震に寄せて～

(財)埼玉県サッカー協会副会長 横山謙三

今回の東北地方太平洋沖地震でお亡くなりになられた多くの方々に、心から哀悼の意を表します。また被災者の皆様に、心からお見舞い申し上げます。

今、私たちにとってはやらなければならないことはなんでしょうか。その考えの基準として、私は緊急度と重要度の二つがあると思います。今は、緊急度が一番でしょう。であれば、現地で必要な電力を考えて節電を徹底することです。確かに、スポーツは重要ですが、やはり今は電力が足りないのです。緊急度が違うのです。原子力発電所が被災するという「あってはならない」ことが起こっている今、全面的に節電を行うことが急務なのです。

SFAとしてはサッカーを通じて何かできればいいのですが、具体的なアクションはなかなかできないのが現状です。そこでSFAは最小限の電力消費に協力しているところです。

これは私見ですが、日本サッカー協会の判断は甘すぎたと思います。災害の大きさを考えたとき、取るべき行動は他にあった

のではないのでしょうか。また、「ヴィレッジなどで繋がっている東京電力とのパートナーシップを考えたとき、様々な協力ができるはず。この災害そのものを、サッカー界全体で考えるときではないのでしょうか。

一連の報道を観て思うのは、いかに人が役立つかということです。結局、災害復旧をするのは人なのです。人と人のつながりを強く感じます。被災者である高校生ボランティアたちの仲間意識は、多くの人に「生きる力」を与えているのではないのでしょうか。今、子どもたちがみんなのために働いています。彼らはこの困難の中にありながら、避難所というコミュニティの中で学び、さらに成長してくれると確信しています。

この後は、復興に向けて動き出すことでしょう。そこで励みになるのが、スポーツです。復興に向けては、スポーツが重要な役割を果たします。ただ、今はまだ危険な状態です。節電が第一です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



## 平成24年4月、公益財団法人移行へ

事務局長 高橋 明

去る2月18日の理事会において、我が(財)埼玉県サッカー協会は、新公益法人法改正に基づき、平成24年4月に向けて「公益財団法人」を目指すことが全員一致で承認されました。前号のSFA NEWSでも松本利春・総務委員長からの報告を掲載しましたが、この4月より準備に入ることになりました。

この決定の前に、1月15日には理事、監事、評議員が集い「勉強会」を開催しました。ここではSFAの現状を共有しながら、「公益法人」になることと「一般法人」になることとの違い、それぞれの責任などについて学び、2月の評議員会での審議、理事会での決定という順序を取りました。

現状として、SFAの事業のほとんどが「公益事業」であり、考え方などについてはこれまでと大きく変わることはないと考えられています。ただし、従来以上に経理面の透明化が求められており、各種連盟や市町協会など、SFAに繋がる団体の経理面も厳正でなければなりません。特に報告や決算などの締め切りなどは厳守となりますから、各団体との連絡を密にしながら、新たな体制を整えていかなくてはなりません。

4月2日には運営会議が開催され、再度説明がありますが、今後は各方面への協力体制作りが急務となります。ご理解とご協力を賜りたいと存じます。よりよい協会運営を目指し、理事、監事、評議員、そして事務局一同邁進して参ります。よろしくお願ひ致します。

その他の議題は、補正予算案と新たに表彰規定が設けられたことが承認されました。



座談会

## 埼玉の2種、3種、4種の連携を目指して ～守屋監督を囲んで～

今年は高校選手権でベスト8、インターハイでもベスト4と西武台高校が飛躍した年でもあった。この成果は、埼玉全体の財産であり、どのカテゴリーの指導者の成果でもある。今回は、守屋監督を囲みながら、種別を超えた意見交換を行った。

### 『「おめでとう」はまだ早いでしょう』（坂庭）

一まず皆さんから自己紹介を兼ねて、一言ずついただきたいと思います。合わせて、守屋さんに対してもいただけますか。まず、名取さん、いかがでしょうか。

**名取** 守屋さんは高校（帝京）の一つ先輩なので、ちょっと話づらいですね（苦笑）。今回はおめでとうございます。これが率直な思いです。私はクラブにいますが、西武台の活躍は埼玉の代表として誇りに思います。選手たちが黙々とプレーしているところを見ることができたのがよかったです。レッズ含めて同年代の選手にとっては、打倒西武台を目指し、切磋琢磨してもらいたいものです。合わせて、たまたまですが、清水ら3人がレッズ出身ということもあり、ヒヤヒヤしながら見ていました（笑）。環境も整ってきた中、こういう結果が出たのも守屋さんの努力の賜物。今後も期待しています。

**都所** 今回、埼玉の中学、クラブからの子どもたちが成長し、ベスト8。インターハイではベスト4と勝ち上がってくれたことは、周りの指導者共々うれしく思っています。3種の現状として、中学とクラブとでは大きな差が開いています。今回、所沢安松、越谷北、さいたま木崎の出身者3名がスタメンに入っていました。それぞれの顧問は驚きながら、彼らの頑張りを読んでいました。身近な先輩が全国大会へ行っただけは子どもたちの励みになります。がんばればやれる、ということです。これはクラブの子どもたちも同じでしょう。また、3種の指導者にも刺激になりました。改めてお礼を言います。ありがとうございました。

**秋山** ベスト8、おめでとうございます。ここしばらく1、2回戦での敗退が続いていましたが、今回はどこまで行ってくれるのかと、目を離せない大会になりました。4種の子どもたちも憧れを持って見ていたと思います。身近な目標となり、また「埼玉でがんばろう」と思う子どもたちが増えたと思います。新座のレベルが上がっていますね。

今年、4種リーグが5年目を迎えます。1回目に参加した子どもたちが高校1年生になります。いい選手を送り出して行きたいと思っています。3種、2種で上手く育ててほしい。



坂庭 泉氏

**坂庭** 守屋さんには「おめでとう」はまだ早いんだと思います。今は「お疲れ様」というべきでしょう。実のところ、守屋さんが一番楽しんでいて、子どもたちが守屋さんを喜ばせたと思うのです。サッカーも、守屋さんが好きな、センターフォワードががっちりしたサッカーで、雰囲気としても選手も監督も言いたいことを言っていたのではないのでしょうか。

技術委員会では「子どもたちに」と情報を発信していますが、今回ここから「指導者をやっていてよかったこと」を発信できればと思っています。サッカーをしていて指導者にも喜びがあるということです。今、「～しなきゃいけない」が多いのです

出席者	秋山和雄	4種委員長
あいうえお順 (敬称略)	坂庭 泉	技術委員長
	都所亮介	伊奈学園中学校・県中体連副委員長
	名取 篤	浦和レッズジュニアユース・11年度国体少年男子監督
	守屋 保	西武台高校監督

が、守屋さん、本当は国立で胴上げされたかっただろうなあと思うんです（笑）。ここまで努力して情熱を持ってばこういふ結果が出るのです。そういう喜びがあることを知ってほしいのです。実際、どこかで負けていてもおかしくなかった大会だったと思いますが、子どもたちは面白かっただろうし、守屋さんも面白かったと思います。「こう指導していた」よりも、喜びを聞かせていただければと思います。

**守屋** 応援していただいてありがとうございました。期待を背負いながらも、それが楽しみに変わっていったのも事実です。「楽しんでいた」のは、各方面から暖かい声をかけていただいたから味わえたことだと思います。

ただ結果は満足してなくて、準々決勝に負けた後、子どもたちが、声が出なくなるまで泣くとは思いませんでした。ずっと、県内の子どもたちだけで優勝しようと思っていました。83回は西部地区からは初めて出場しました。2回目の出場は不甲斐ないものでした。実のところ今年よりも去年のチームのほうがよかったです。

清水は能力は高いけれども、1、2年生のときには試合に出ることができませんでした。町山だけでした。当時の清水は180人近くいる部員の中で出場するに相応しいかといえば、そうではありませんでした。やはりうまさだけではないのです。それがトイレ掃除や落ち葉拾いなどが不自然でなくできるようになったのが、3年生になってからでした。それでもレッズのジュニアユースでしたから、いい練習を知っているんですね。例えば、個人練習の中で体幹を毎日やっていました。また自分に足りないメニューはこつこつと続けていました。全体で2時間半から3時間くらいの練習の後、プラス1時間はやっていましたね。ヘディングシュートを外すと永遠に続けるとか（笑）。

すると「慎太郎がやっているんだから俺たちも」と、佐々木がまた永遠にシュート練習をするんです。練習を組んで子どもたちが乗ってくるという喜びもありましたが、もう一つ、仲間を育ててくれる仲間がいるんです。仲間に「蹴ってくれ」とクロスやパスを出してもらおうのです。GKもたくさんいますからね……そこに仲間が加わっていく。そこじゃないですかね。

私は見ているだけですが、自然と「そんな膝下の振りじゃだめだろう」「左足で打ってないな」「ダイビングヘッド、見たことないな」と言葉をかけるようになると、あいつも負けず嫌いだからどんどん挑んでいくのです。そういう練習の積み重ねを経て試合前に仲間から「今日は決めろよ」と声がかかる。たまたまマッチしたのかもしれませんがね。

チームとしては脱落もあり、成功も味わう中、いいタイミングで選手権に入って行けたと思います。この年代はレッズジュニアユース出身の3人の力が大きかったチームでした。上のレベルを見てきましたから、戻りたかっただけでしょうね。2年のときにアルディージャに負けてプリンスリーグに参加できなくなったとき、「インターハイで準優勝したら高円宮杯に行けますよね」と聞いてきたんです。でも、私は「勝つことよりも負けないことだよ」と話しました。勝とうとするとどうしてもごまかしてしまいます。自分のプレーをごまかさずに毎日続けて練習していたら変わると思うんですね。実際、インターハイの準決勝では滝川二高に大敗しました。「勝てる」と思ったんでしょうね。「あと一つ」と思ったんでしょう。彼らから見れば、レッズユース時代の仲間たちともう一度やりたかっただけでしょう。ずっと3年間、見返してやりたいと思っていたのですから。

あの3人が回りの子どもたちに「そこに走れ」「そこにせせ」と指示するんです。例えば中体連の子どもたちは上手くはないけれどすごい運動量があって、「慎太郎のために」と守備をするようになり、いつしか「大学に行きたい」「プロになりたい」と、夢を言葉にするようになりました。面白かったですね。そこで練習で、日常生活の中で何をすればいいかをアドバイスしました。

もう一度「負けない」と思って選手権へ。また国立までもう一つのところでした(笑)。そこが悔しくて悔しくて。準々決勝ではロスタイムに追いついて「負けなかった」んですが、僕も興奮して選手をコントロールできませんでした。僕に経験があって、PKの蹴り方や勝負どころを話すことができたなら……。

**坂庭** それができたら古沼さん(貞雄氏・元帝京高校監督)越えでしょう(笑)。



守屋 保氏

**守屋** そうなんです、古沼さんから「俺はPK戦で負けてない」って言われました(笑)。古沼さんは帝京の練習の帰りに顔を出してくれたり、横山さんは子どもたちに「最初の5分、1対1で負けてはいけない。1stタッチはミスしちゃうといけないとクラーマーから教わった」と話していただいたり、皆さんに支えられてきました。特に古沼さんからは今年、「まともなトレーニングしているなあ」と初めて誉められました(笑)。

**坂庭** 高校選抜や代表の選手を見ていて、古沼さんと話していたのは「足が振れない子が多い」と言うこと。「(蹴り足の)踵をお尻につけてフルに振れ」「膝下が早くなれば入るだろう」という話をしていました。シュート1本、2本の精度を上げたいのです。そしてトップスピードに乗ったまま蹴ることができるかどうか。そういうことができるチームが「勝ち上がるチームなんだ」と。狭いところでワンタッチ、ツータッチのプレーも大事かもしれないけれど、それだけではないと思います。ただ、Jクラブでこういう練習をしようとする「壊れちゃう」という話になるんですよ。

**守屋** たまにやるから痛めるんです。毎日やっていれば大丈夫なだけです。ただ、以前の私はい練習だとは思っていませんでした。でも、100%のドリブルからシュートを打てと言っても無理。ボールの芯に当たらずボールは転がるだけ。体幹が弱いんですね。やはり100%のスピードでDFを振り切って、100%の力のままでシュートを打つか、切り返すかの判断ができないといけませんね。

## 「テクニックは上がっているが、自立はまだ」(名取)

**守屋** 春先、10日間で20数試合を経験しました。大垣、九州、広島、そして御殿場。移動してすぐ試合というのを経験させました。メンタルというのは鍛えるのではなく、経験させることでわかせるもの。沖縄(インターハイ)に行ったときも、これを経験していたので自分たちの時間帯やリズムを作ることができました。

**坂庭** そういえば高円宮杯で滝川二高は、日帰りだったんですね。冷房の効いた新幹線ですよ。それでは負けます。

**守屋** 新人戦で市立浦和に負けた試合で、西武台の選手が母親の車に乗って来ていたんですよ。試合で全然戦えていなかったんです。親は「がんばってね」と声援を送っていましたが、これには怒りました。「自分で来させてくれ」と。やはり試合会場と自宅の行き帰りはチームメイトと一緒にいい。今日はがんばろうとか、お前が外したから負けたとか、そういう仲間同士の会話が大事だと思います。だから、熊谷でやって市立浦和との試合は、全員バスで往復していました。だいたいこの年代は親に対して「うるさい」というものなのですが(苦笑)。

**秋山** 我々の時代なんて、親なんか来ませんでしたよ。それが、今は親がいなくて何もできない時代なのではないでしょうか。

**坂庭** 海外なんてチームにマネージャーはいないし、球拾いしてくれる下級生もいませんから、全部自分たちですよ。

**秋山** 少年サッカーの影響が大きいのでしょうか。

**守屋** 練習を見てもらうのはいいのですが、どこで(保護者と)線を引けばいいのかわからないこともあります。

**秋山** 楽しんでくれればいいのですが。

**都所** 今のお話にはびっくりしましたね。自立していないというか。高校生としては恥ずかしいことだと思います。4種は親のバックアップがあって活動ができていて、3種もその延長で親が来てくれています。また中体連の現場では指導者が素人だったりすると「ありがたい」と保護者を受け入れてしまっています。耳が痛い話です。もちろん、しっかりした指導者は一線を引いていますけどね。

私は、お金をかけて自分で移動して練習試合をすることの意味を考えなさいと言っています。しかし、ある程度指導されている子どもが西武台に入っていると思っていました。

**守屋** 多いですね。ほとんどの高校で親に乗せてきてもらっている子どもがいると思います。これがいいことか悪いことかはわかりません。ただ、私はイヤだということです。バルセロナが郊外にグラウンドを作って、メンバーと一緒に食事ができるような環境をつくりましたが、そういう環境が必要なのかもしれません。

**坂庭** 先日、北部で(ゲルト・)エンゲルスを招いた指導者講習会を行いました。これは選手を送ってくれた指導者に恩返しをするために開催したのだと聞きました。いい選手を探すのも大切ですが、守屋さんがこのグラウンドで3種、4種の指導者に「こういう選手を送ってほしい」という発信をしてくれればと思います。そしていい指導を教えてください。

**秋山** 地域的に下から繋がっているところは、トップも強くなります。

**名取** 埼玉の子どもたちのテクニックは上がっています。しかし自立の面ではまだまだ。そのバランスは悪いです。また「やらされている」ところもあります。車で来たというのが、うちのジュニアユース出身で申し訳ないです(苦笑)。ただ、移動などの準備もなるべく自分でやらせるようにしています。ユニフォームを忘れたら、試合には出られませんからね。

**秋山** ジュニアユースの子どもたちはよく挨拶してくれます。

**名取** ありがとうございます。ただ、上の学年に行けば行くほど、挨拶などができなくなっています。本来は、高3ほどできていなければいけないのですが。

**守屋** クラブだけの問題じゃないです。埼玉の全体が甘いような気がします。それに比べて九州は熱いですよ。指導者もそうですが、選手も一代表に7人くらいいましたし。遠藤保仁とかたくましいじゃないですか。彼の著書に「クラブユースの子は上手いけれど戦えない」と書いてありました。高校の時「このタイムで走れないと全員で走り直し」とかあったじゃないですか。上下関係のある中、先輩に走り直させられないから一生懸命に走るわけですよ(苦笑)。それがクラブユースの子たちは「こいつはすごい」と思ったら諦めるって言うんですね。そこから先に行こうとしない。「チームのために」どうすればいいのを考えて探して戦えないというのです。ここから先の日本のサッカーに不安を感じると言っています。

今回の沖縄で16チームが同じ宿舎でした(笑)。そうすると、各チームで色が出るんです。食事後全員籠もってビデオを見るチーム、真面目に過ごすチームもありますが、あるチームはプールに入っていて、それを見た生徒が「僕たちも」と言ってきたんですが、「お前は幻を見たんだ」と言ってやりました(笑)。

**全員** (爆笑)

**守屋** あるチームは朝6時から砂浜でランニングとか。西の指導者は面白いですよ。



秋山和雄氏

## 「自立とは工夫すること」(守屋)

**秋山** 4種はどのように3種につなげればいいのでしょうか。

**名取** シンプルです。サッカーが楽しいと思えるようにしてもらえばいいです。昨年からU-13を指導していますが、久しぶりに“サッカー小僧”と呼ばれるような子どもたちとサッカーをしています。ほっといたら、1、2時間平気でやっていますし、そのうちにドッジボールになっていたりしています(笑)。トレーニング以外にいろいろなフリーキックを蹴らせるとか、ダイビングヘッドをさせたり。そういうことが大事だと思いますね。

**秋山** やりたいことがやれば、シュートが決まれば、また勝れば楽しいものです。だから私は「楽しめ」と子どもたちに言っています。ただ、現場の指導者はキョトンとしていますけど。

**坂庭** 今はウォーミングアップでポジションをやっていますからね。指導者にゴマをするというか、練習の予習をするんですね。ナショナルトレセンを見ていても練習後はすぐ帰ってしまいます。コーチもそう。ただ、雪のあるコンサドーレの子どもたちは熱心でしたね。まあ、みんな“選考会”なので、準備ばかりしているような感じがします。

**守屋** 今、中学校のサッカー部はどのくらい大会に参加していますか。

**都所** 約400です。U-13の大会だと選手が揃わないからと合同チームでの出場もありますけれど。

**守屋** ここしばらく中学の練習を見たことがないんですよ。だいたい15時30分に校舎からグラウンドまでジョギングしてくるのですが、静かなんですよ。新任の頃は、あちこちで歓声が聞こえ、狭いグラウンドにいくつもクラブが活動していました。それが、今はグラウンドが空いているんですよ。いつ練習しているのか？ サッカー部があるのか？ 毎日練習していないのか？ 中学は17時30分までや18時まででも、毎日できる良さがあります。これでいいのでしょうか。

中学の部活でやっていて、Jリーグのチームから引き抜かれてもいいじゃないですか。あとは中学でしてもらえば、もっといい選手が出てくると思います。またレッズやアルディージャで1年やったけれど、伸び率が悪ければ「中学に戻るか」というくらいに発展しないと難しいと思います。また逆もあるんです。高校年代でもチームを移籍したら6ヵ月間は公式戦に出られないというルールがありますが、もっと行き来ができるようにすればいいのです。そのほうがトップを目指せるじゃないですか。一緒にやっていた選手が呼ばれたとなれば、夢があります。半年きざみくらいで声をかけてくれればいいですね。逆に戻ってきたら何が足りないのかを、指導者と共に一緒に考えていければいいのです。

**秋山** 3種の子どもたちの中で(レベルの)上下の差が大きいのでは？

**守屋** 4種のときはドリブルで相手を抜けることができても、体が大きくなる中でできなくなったりするのです。そういうのを中学で目覚めさせてあげてほしいのです。今回、中体連から出てきた子どもたちは指導者が熱い地域のところ。サッカーをやる場所がある子どもが伸びているのです。

**都所** 中学は、学校数は多いのですが、指導者は不足しています。また校内での会議も多く、練習に出ることができないこともあります。そのため一部の熱心な指導者の中学には子どもたちも集まるのですが、そうでないとクラブに流れてしまうということもあり、我々としては頭の痛いところ。しかし、目の前にはグラウンドがあり、恵まれた環境にあると言えます。

ただ、昔は指導者がいようといまいと、練習はしていたと思います。我々としては、トレセンという形で指導者がいなくても、いい素材を拾おうとしています。地区で月に1、2回でも刺激を与えられればと思っています。またトレセンの指



都所亮介氏

導者は皆、熱くがんばってくれています。

もっとサッカー談義をしたいですね。指導者同士で熱く語り合いたいものです。もちろん選手同士でも「あのときは」という話ができるようにしたいものです。

**坂庭** サッカーの楽しさを地域の指導者に理解してほしいですね。今は「～しないと」と思っている。もっと子どもに任せてもいいのではないのでしょうか。

**都所** 今、子どもたちも恵まれていて「やってもらって当たり前」ですからね。

**守屋** それでいてしゃべらない。

**名取** 人の目を見て話せないし。私が見ているU-13はまだ3種の入り口で、少しずつでも3年かけて2種に向けて進めています。時間はかかるでしょうが、3年間あります。そういうところを変えていかなければいけませんね。

でも、サッカーは楽しそうなんですよ。だから負けたら悔しいという感情も出てくるのではないのでしょうか。中1で初めて自転車に乗る子もいますね。

**一同** えっ(苦笑)

**都所** 3種としては「サッカーが楽しい」と思ってくれた4種の子どもたちを、心技体のすべてが成長する時期に自立させられるかどうかですね。靴下くらい自分で洗えよと言いたいくらいです(苦笑)。選手同士のコミュニケーションの場を与えながら、子ども扱いしないで大人として扱っていきたいと思います。自立——サッカーを通じて、人間づくりができるといいですね。

子どもたちと話をしても、自立していない子どもにはサッカーの話や戦術の話がわかってもらえません。トレセンを見ていてもそうですが、自分で考えながらプレーしている子どもがレギュラーになり、伸びています。自分だけの感覚的なサッカーから、周りやチームを考えて行う大人のサッカーに近づけていきたいですね。

**守屋** 自立している子どもが増えれば強くなるのです。テクニクよりも、下手でもサッカーが好きな子が伸びています。「本気で大学でやりたい」という子どもが増えています。自分もそうだったかなと思います。やはり本気でサッカー好きな子がプロになっていますよ。ただ上手いだけの選手はいますが、気持ちが悪ければ何もなし。その部分が鍛えられているのかどうか。上手いけれど回りを使い切れない子もいますが、下手だけれど何とかしてくれる。そんなカラーが3種の年代で出てくると思うのです。

自立というのは「何とかしよう」と工夫することです。それがまた素直さだと思います。例えば、負けたことを認めて聞く耳を持つということも。中体連でも「そうじをしっかりとやれ」とか「(成績で)1取ったら高校に行けないぞ」と言ってくれればいいのです。環境は大事です。

**秋山** 4種はいい素材がいっぱいいます。よろしく願います。

**名取** 本当にいっぱいいますね。

——今日は長い時間、ありがとうございました。最後に坂庭さんにまとめていただきたいと思います。

**坂庭** 守屋さんにはこの財産を地域に、指導者へも分けていただきたいと思います。地域で選手とスタッフが揃って強くなってくれば、全体が強くなります。そうすれば、守屋さんの国立での胴上げもあるでしょう。そして、代表選手が出てきてくれればと思います。

先日の全国技術委員長会議で、ザッケローニ監督が「海外はクラブからしか選手が出てこないが、日本は大学、高校からも出てくるのが魅力であり、よさだ」と。これからもよろしく願います。ありがとうございました。



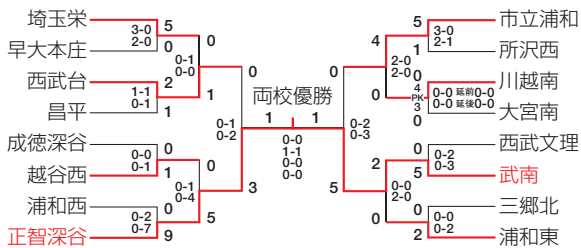
名取 篤氏

# 大会記録 ● 県内大会

## 2種・高校

### 平成22年度埼玉県高等学校サッカー新人大会

2月5日～19日 埼玉スタジアム第4グラウンド他



※決勝は引き分けとなり、大会規定により、同校優勝。正智深谷は3年ぶり2回目、武南は14年ぶり9回目の優勝

### ●埼玉県高等学校サッカー新人大会を振り返って

高体連技術委員 高橋 智 (深谷高校)

昨年の高校サッカー選手権大会 Best 8の8チームと、各支部の激戦を勝ち上がった8チームの計16チームによって、埼玉県サッカー新人大会決勝トーナメントが、埼玉スタジアム第4グラウンドをはじめ、各会場で開催された。

決勝までコマを進めた武南高校 (以下武南) と正智深谷高校 (以下正智) は、トーナメントに進出した16チームの中でも群を抜く攻撃力を誇っていた。持ち前の速いパスワークと高い技術に、流動的なポジショニングでゴールに迫る武南の攻撃は迫力があり、他のチームを圧倒し決勝まで進んだ。一方の正智は、昨年からのレギュラー選手が数多く残り、高い技術とスピードで両サイドから仕掛けるスタイルが浸透している。現時点では、チームの完成度が最も高いチームであると感じられ、試合運びを見ているだけでも、決勝まで進んできたのは当然といえよう。

高い攻撃力を誇る両チームの戦いは、試合開始直後から一進一退の攻防が続き、正智1点リードで迎えた80分に武南が追いつき、延長戦では両チームの粘り強いディフェンスで決め手を欠き、両校優勝という結果となった。武南にとっては5年ぶり、正智にとっては3年ぶり2度目の県内タイトルである。今後はこの2チームと、新人戦中央リーグ・決勝トーナメントで両チームを苦しめた浦和東高校、昨年の高校選手権チャンピオンの西武台高校の4チームを軸に、インターハイ予選・選手権予選を迎えることになりそうである。

浦和東高校は中央リーグで武南に4-1で勝利、正智に2-2で引き分けており、優勝した2チームとは互角の戦いを演じている。西武台高校はチーム結成が他チームより遅れたこともあり、選手の組み合わせやポジションなどを模索している最中である。浦和東、西武台、武南の3チームは、関東プリンスリーグへの参加が決まっており、他県のトップチームとの戦いの中でさらにレベルアップしてくると思われる。

一方、地区予選を勝ち上がってきた8チームはすべて、トーナメントの1回戦で姿を消すという残念な結果に終わった。得点差が開いた大味なゲームも目立ち、各チームの課題を浮き彫りにする形となった。4月に行われる関東大会予選に向けて、各チームの監督がどのように修正してくるか楽しみである。また、前述したプリンスリーグに参加する3チームを除く、29チームによる関東大会予選は激戦が予想され、どのチームにも出場チャンスがあると思われる。注目すべきチームとしては、昨年度新人大会覇者の市立浦和高校、中央リーグA組を首位で通過した埼玉栄高校、トーナメント1回戦では惜しくも敗れた昌平高校、成徳深谷高校、大宮南高校などがあげられる。

新人大会に出場した各チームは、厳しいトーナメントを戦ったアドバンテージを生かし、上位進出を目指してほしい。また、今年の県内各大会は前述したチームを中心に展開されると思われるが、昨年の西武台高校のように、抜きでたチームが見当たらない。したがって、各大会激戦が予想され、どのチームにも代表のチャンスがある。各チームが高い目標を持ち、日々のトレーニングにあたってほしい。



準決勝 正智深谷 vs 西武台



準決勝 武南 vs 市立浦和

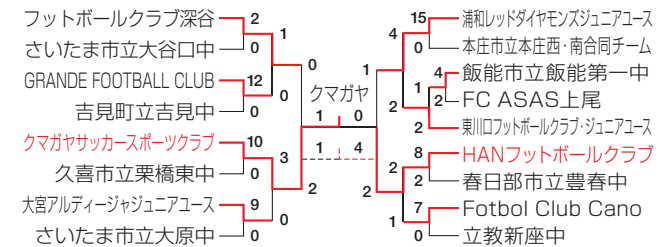


決勝 正智深谷 vs 武南

## 3種

### 第13回埼玉県ユース(U-13)サッカー選手権大会

1月29日～2月12日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他

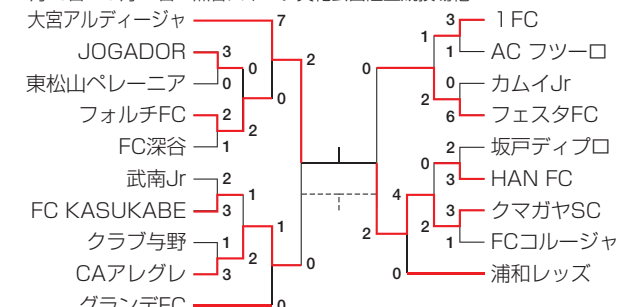


※クマガヤSCが優勝

## 3種・クラブ

### 第20回埼玉県クラブユース(U-14)サッカー選手権大会

12月18日～3月12日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他



※決勝、3位決定戦の開催は未定

4種

第5回埼玉県第4種新人戦中央大会

2月13日～20日 埼玉スタジアム第2グラウンド

千代田FC	1	0	1	川越福原サッカークラブスポーツ少年団	1
FCセリエタ	2	0	0	大宮アルディージャジュニア	2
戸塚フットボールクラブジュニア	4	7	1	江南南サッカー少年団	5
すみれFC Norte jr	1	1	1	あけぼのFC	1
プログレッシブサッカークラブ	0	7	4PK 2	春日部幸松サッカースポーツ少年団	1
レジスタFC	3	7	0	上尾NEO.FCスポーツ少年団	0
はくつるフットボールクラブ	0	0	1	1FC川越水上公園	3
東山パレニアフットボールクラブJ	1	0	7	浦和三室サッカースポーツ少年団	0

※レジスタFCは3年ぶり2度目の優勝



決勝 レジスタFC vs 江南南サッカー少年団

女子・高校

平成22年度埼玉県高校女子サッカー新人大会

1月9日～2月13日 川越陸上競技場他

本庄第一	5	0	1	埼玉平成	1
松山女子	0	0	0	入間向陽	0
市立浦和	1	0	1	川口総合	1
山村学園	5	1	0	浦和一女	0
浦和西	12	3	7	花咲徳栄	1
庄和	0	3	3	熊谷女子	0
狭山ヶ丘	0	0	0	北本	0
埼玉栄	3	0	9	久喜	0

※花咲徳栄が初優勝



決勝 花咲徳栄 vs 浦和西

フットサル

第7回埼玉県女子フットサルリーグ

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	差
1	Aventura	30	10	0	0	103	3	+100
2	武蔵丘短大	27	9	0	1	143	15	+128
3	武蔵浦和FC	22	7	1	2	45	36	+9
4	dolce da donna	21	7	0	3	70	25	+45
5	り～すなぶる。	16	5	1	4	23	36	-13
6	CHU-BAR	15	5	0	5	23	38	-15
7	FUKAYA	12	4	0	6	20	56	-36
8	I.F.C/ems	9	3	0	7	25	52	-27
9	FILHO Ladies	7	2	1	7	6	65	-59
10	口クFC Grama	2	0	2	8	2	60	-58
11	chechio	1	0	1	9	2	76	-74

※Aventuraが初優勝

大会記録●県外大会

1種・社会人

第19回埼玉県・東京都社会人サッカー交流戦

1月16日 駒沢補助競技場

埼玉県リーグ選抜 2-3 東京都リーグ選抜

※通算成績は埼玉の9勝3分6敗

女子

第17回関東女子サッカーリーグ・入れ替えトーナメント大会

1月8日～16日 武蔵丘短大グラウンド

1回戦 尚美学園大学 1-1 ジュニベール (3PK 2)

2回戦 尚美学園大学 5-0 横須賀シーガルズJOY

決勝 尚美学園大学 4-0 東京女子体育大学(関東8位)

※結果、尚美学園大学と筑波大学の関東女子リーグ昇格が決定した

第8回関東女子トレセンリーグ(U-12)

順位	チーム名	埼玉	東京	栃木	神奈川	千葉	茨城	群馬	山梨	勝点	差
1	埼玉県	*	1△1	7○0	2○1	5○0	3○1	6○2	12○0	19	+31
2	東京都	1△1	*	0●1	3○0	3○0	3○0	4○0	10○0	16	+22
3	栃木県	0●7	1○0	*	3△3	0●6	1○0	4○1	4○0	13	-4
4	神奈川県	1●2	0●3	3△3	*	0△0	1○0	7○0	9○0	11	+13
5	千葉県	0●5	0●3	6○0	0△0	*	1△1	6○0	7○0	11	+11
6	茨城県	1●3	0●3	0●1	0●1	1△1	*	2○0	4○0	7	-1
7	群馬県	2●6	0●4	1●4	0●7	0●6	0●2	*	3△3	1	-26
8	山梨県	0●12	0●10	0●4	0●9	0●7	0●4	3△3	*	1	-46

※埼玉県選抜は2連覇

第17回少女サッカー都県選抜チーム関東・東北交流大会

1月16日 リコー東松山グラウンド

●予選リーグ・Aブロック

埼玉県選抜 6-0 福島県選抜

埼玉県選抜 6-0 神奈川県選抜

●順位決定戦・1位決定戦

埼玉県選抜 4-0 東京都選抜

※埼玉県選抜は4連覇7回目の優勝

第18回神奈川県少女選抜招待サッカー大会

2月5日、6日 大磯町星槎湘南スタジアム

●予選リーグ・Aブロック

埼玉県選抜 1-1 兵庫県選抜

埼玉県選抜 0-0 静岡県選抜

決勝トーナメント・5～8位決定戦

1回戦 埼玉県選抜 1-0 三重県選抜

5位決定戦 埼玉県選抜 1-2 滋賀県選抜

※埼玉県選抜は6位入賞

## フットサル

### PUMA CUP 2011 第16回全日本フットサル選手権関東大会

1月9日～2月6日

1回戦 アルティスタ埼玉 1-5 フウガ東京

### 第13回関東フットサルリーグ2部参入戦

2月19日～27日 常総市水海道総合運動公園体育館

1回戦 インペリオ浦和FC 2-3 モランゴFC都賀

※デルソーレ中野とFCmm(千葉)が関東2部に昇格

### 第2回関東女子フットサルリーグ参入戦

2月26日、27日 常総市水海道総合運動公園体育館

1回戦 Aventura 3-1 フォレストアネックス

2回戦 Aventura 3-0 ロンドリーナバレンチ

決勝 Aventura 1-0 シュートアニージャ

※Aventuraは関東女子フットサルリーグの参入権を獲得

### トリムカップ2011 第3回全国女子選抜フットサル大会関東大会

12月26日 渋川総合体育館

#### ●予選リーグA

順位	チーム名	東京都	埼玉県	山梨県	神奈川県	勝点	得点	失点	得失差
1	東京都	*	3○1	5○0	5○0	9	13	1	+12
2	埼玉県	1●3	*	3○1	3○0	6	7	4	+3
3	山梨県	0●5	1●3	*	2○1	3	3	9	-6
4	神奈川県	0●5	0●3	1●2	*	0	1	10	-9

#### ●関東代表決定戦

埼玉県選抜 2-1 千葉県選抜(B1位)

※埼玉県選抜は東京都選抜とともに本大会に出場する

## さいたまシティカップ開催

～2011シーズンは、さいたまダービーからスタート～

2月20日、NACK5スタジアム大宮において、「さいたまシティカップ」が開催されました。今回は、大宮アルディージャ対浦和レッズという、初の「さいたまダービー」での開催ということもあり、多くの観客が集まりました。結果は、ホーム・大宮アルディージャが3-0と勝利を収めました。選手たちは最初から全力でぶつかり合い、今の力を様々な形で試していました。今年は、ぜひこの2チームで優勝争いをしてもらいたいものです。



清水さいたま市長と藤本選手

2月20日 NACK5 スタジアム

大宮アルディージャ 3-0 浦和レッズ

得点者：キム ヨングォン、ラファエル、東



山田選手(浦和)とラファエル選手(大宮)

## 審判委員会より

### ●JFA審判トレセンと2級審判員体カテスト実施について

審判委員会インストラクター部部長 田中 忍

去る3月5日、6日で表題の研修会を開催しましたので、ご報告致します。

#### ・3月5日(土)【JFA 審判トレセン】

新規サッカー3級審判インストラクターの認定講習会として東松山リコー研修センターならびにリコー研修センターサッカー場で実施しました。講師にサッカー1級審判インストラクターの野原敬司氏を招き、充実した認定講習会でした。

新規取得希望者は、12名でプレゼンテーション・ブラクティカルトレーニング・競技規則テストにあたりました。

#### ・3月6日(日)【2級審判員体カテスト】

東松山市陸上競技場で、2級審判員を対象に体カテストを実施しました。参加者は、約50名。FIFA フィットネステストを実施しました。FIFA フィットネステストとは、40m走 × 6本と150m走、50m歩 × 20のインターバル走の2種目です。

40m走 × 6本は1.5mの助走を付けて40mを6.8秒以内で走ることが合格基準です。150m走、50m歩 × 20のインターバル走は、150mを35秒以内で走り、その後50mを45秒で歩き心拍数を落ち着ける。これを20回繰り返します。

2回規定のタイムで走れないと不合格となりますが、皆さん、がんばってくれました。



新規取得者によるプレゼンテーション



審判は走りが基本です

## 技術委員会より

### ●「埼玉県 GK プロジェクトスタッフミーティング」開催

2月28日に南稜高校において、「埼玉県 GK プロジェクトスタッフミーティング」が開催されました。2011年度の東南・西北での年間指導計画が提示され、スタッフ配置も確認されました。なお、GK キャンプが次のように決定しました。

7月9日 前期GKキャンプ

(U-15・16 選抜選手対象。埼玉工業大学予定)

12月11日 後期GKキャンプ

(U-13・14 対象、オープン参加。東京国際大学予定)

正式な日程は、改めて連絡があります。よろしくお願ひします。

## 医事委員会より

### ●「FIFA11+」について

1月9日の全国医事委員長会議で「サッカーの傷害予防プログラム」の一環として「FIFA11+」が紹介されました。JFAのホームページに掲載されています (<http://www.jfa.or.jp/jfa/medical/index.html>)。各チームの監督、コーチ、指導者の方々はこれをよくご覧になって、選手のケガや障害を少しでも減少するように、また予防できるように努め、選手を指導してください。

## 広報委員会より

### ●「SFA タウンミーティング in 上尾」報告

2月26日、上尾プラザ22において、南部地域連絡協議会主催により、北足立北部(上尾・桶川)を対象に、タウンミーティングを開催しました。

高橋道広・上尾市サッカー協会会長の挨拶で始まり、横山謙三SFA副会長からSFAビジョンとミッション、2011年度に向けた協会方針が説明されました。最後に、横山副会長の「我々も失敗しても前を向いてチャレンジすることが重要だと思っています。育つ世代に判断力を持たせるのが日本流だと思う」という言葉で締めくくりました。

積極的な質疑があったことが印象的であり、参加された皆様へ感謝を申し上げます。その後、懇親会もあり、有意義な意見交換と交流ができました。SFAとしては、引き続き、市町協会との関係を深めていきたいと考えています。ぜひ、事務局までご連絡ください。



挨拶する高橋道広・上尾市協会会長

### ●埼玉新聞で「(財)埼玉県サッカー協会だより」やっています

埼玉新聞紙上で毎週月曜日の運動面にて、「(財)埼玉県サッカー協会だより」を連載しています。SFAの考え方、取り組みを情報発信しています。ぜひともお読みください。

## 施設委員会より

### ●東日本大震災に伴うリコー東松山研修センターサッカー場のご利用について

いつもリコー東松山研修センターサッカー場をご利用いただき、誠にありがとうございます。

この度、東日本大震災に伴う節電に協力することから、当サッカー場の夜間利用(18:00以降)及び照明利用を当分の間中止致します。

なお、現在予約している夜間利用のキャンセル料は頂きません。皆様のご理解、ご協力を何卒宜しくお願い致します

## 編集後記

まずは、今回の東北地方太平洋沖地震でお亡くなりになられた方々に心から哀悼の意を表します。現在もまだ被災され、不便な生活を強いられている皆様には心からお見舞い申し上げます。

埼玉県内においても様々な被害がありましたが、被災者の皆さんを受け入れるなど、積極的な支援の輪が広がっているのを見て、人と人との繋がりや強さを改めて感じているところです。

さて、本来ならば個別での編集後記を掲載す

るところですが、今回は事務局の総意として、書かせていただきます。

We will never walk alone.

我々も日本全国の皆さんと、一緒に歩んで行きたいと思えます。チカラをひとつにして行きましょう。

●東北の被災地に向かう自衛隊の車両と遭遇した。車の窓越しに親指をたてサインを送った。複数の隊員から「まかせておけ」と力強いサイ

## インフォメーション

### ●(財)埼玉県サッカー協会 各種委員会・各種別連盟の活動に関して(お願い)

東北地方太平洋沖地震及び長野県北部の地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、財団法人埼玉県サッカー協会では諸般の諸事情を考慮し、移動を伴う諸事業、諸活動及び照明を使用する活動について当面の間自粛するようお願い申し上げます。

各委員会・連盟それぞれの事情が御有りと存じますが、昨今の諸事情を鑑みご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

財団法人埼玉県サッカー協会 専務理事 横山謙三

### ●JFAより

#### 【東北地方太平洋沖地震等義援金受付について】

がんばろう ニッポン ～サッカーファミリーのチカラをひとつに！～

財団法人日本サッカー協会(JFA)では、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に対し、義援金受付口座を開設することになりましたのでお知らせいたします。

皆様からお寄せいただいた義援金は、JFAを通じて全額日本赤十字社へ送られ、被災者の援助や復興支援の資金などとして使われます。

銀行口座：三菱東京UFJ銀行(0005) 渋谷支店(135)

普通預金 口座番号 0285814

財団法人日本サッカー協会 東北地方太平洋沖地震等義援金口

※ご利用金融機関が設定する振込手数料はご負担願います。

※この義援金は、税制上、地方公共団体に対する寄附金に該当し、所得税法又は法人税法の優遇が受けられます。

※預り証をご希望の方は、振込用紙(写し)と、住所、氏名、電話番号を書き添えて、下記までご郵送ください。預り証を発行させていただきます。

〒113-8311 東京都文京区サッカー通り JFAハウス

(財)日本サッカー協会総務部経理 G

詳細は、[http://www.jfa.or.jp/ganbaro\\_nippon/](http://www.jfa.or.jp/ganbaro_nippon/) まで

### ●東京国際大学で審判講習会開設【審判養成】

将来1級を目指す2級審判員の育成を図るため、東京国際大学において、2011年度以降より4級審判員認定講習会及び3、2級審判員昇級講習会の開設を認める。

### ●高円宮杯(U-18)が改組【2種大会】

今年度より、高体連チームとクラブチームが共に戦う「高円宮杯全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会」の組織が変更となった。

従来、9地域で開催していた「プリンスリーグ」の上に東地区、西地区で開催される「プレミアリーグ」を置き、さらに東西優勝チームが「チャンピオンシップ」を戦うこととなった。

### ●社会人連盟でも義援金を受け付けています

埼玉県社会人サッカー連盟でも、被災された皆様に対しての義援金を受け付けています。よろしく願いいたします。

埼玉りそな銀行上福岡支店 普通 4942786

名称：埼玉県社会人サッカー連盟義援金口座

ンが戻ってきた。「たのむぞ救援隊」。事務所も暖房・照明を切って執務中です。(高橋)

●3月31日付けでSFAを退職することになりました。2年間という短い期間でしたが、組織をはじめ関係の皆さまには大変お世話になりました。この間の仕事を通してたくさんの方と交流をすることができ、多くのことを学ぶことができました。心から感謝申し上げます。退職にあたっての挨拶といたします。(森山)